※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	ライフデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ライフデザインを学ぶ上で大切なことは、単なる知識や技術の習得のみでなく、学習した内容を実際に自分の生活に活かすことです。学校の学びをぜひ、将来に活かしてください。
（１）授業で身につけた知識や技能を日常生活のなかで活かし、日々の生活の改善・充実につとめる。
（２）課題などの提出については、遅れることなく、必ず期限内に提出する。

2　学習の到達目標

家庭基礎における学習を基礎とし、自らの目指すライフスタイルを実現するために生活資源を有効利用し、進学や就職など、経済計画も含めた生涯を見通した自己の生活をデザインする姿勢を養う。また、自らの生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。知力、実践力、コミュニケーション力を兼ね備えた人間力を培う。
１）生涯にわたるこれからのライフステージに対する意識を醸成し、今後の将来設計を描いていくために、自己を理解したうえで、基本的な資質や能力を身に着ける。
２）礼儀、礼節を重んじ、世界に誇るべき日本の伝統文化を学ぶことで、改めて日本の魅力を理解し、後の世代へも伝えることの重要性を養う。
３）向上心や探求心を持ち、多様な人とコミュニケーションを図りながら、協働して学ぶ実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活設計の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に着けている。また、はるか昔より伝わる様々な年中行事に託された文化の伝承とも向き合い理解している。	生活課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	自らの人生に関心を持ち、その充実を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		室礼 12 か月(4 月～10 月)	a:各月に伝わる季節の盛物と年中行事について理解している。 b:　各月の室礼をもとに興味関心を持った事柄について、自主的に掘り下げ調べたことをまとめたり、発表したりすることができている。 c:各月の室礼をもとに興味関心を持った事柄について、自主的に掘り下げ調べまとめようとしている。	試験	・レポート	・出席 ・レポート ・課題への取り組み
		将来について考える	a:20 年後の世の中について予測し、調べライフデザインリストを作成することで時代の変化を理解する。 b:作成したライフデザインリストについて自己肯定感を高めることを目的とした、自己理解を深めるためのワークを行い、意見をまとめたり、発表したりすることができている。 c:お互いの意見を傾聴し、相互理解を深めることができている。	プレゼン	ワークシート	・ワークシート ・出席 ・課題への取り組み
		生活環境デザイン関連作品制作 ①基礎縫い実践 ②コットンボールライト制作 ③カードケース制作 ④動物巾着制作	a:制作課題について作り方を理解し、時間内に正確に作ることができている。 b:基本の作り方を理解しつつ、オリジナル性を盛り込んだ作品を制作することができている。 ｃ：制作物の作り方を理解し、正確に作成するために作業に集中し取り組んでいる。	作品	作品 レポート	・出席 ・作品 ・レポート
後期		室礼 12 か月(11 月～3 月)	a:各月に伝わる季節の盛物と年中行事について理解している。 b:　各月の室礼をもとに興味関心を持った事柄について、自主的に掘り下げ調べたことをまとめたり、発表したりすることができている。 c:各月の室礼をもとに興味関心を持った事柄について、自主的に掘り下げ調べまとめようとしている。a:	試験	・レポート	・出席 ・レポート ・課題への取り組み

※令和４年度以降入学生用

		経済計画と ライフデザインリストの作成 ①100 万円あったら ②大学生のための人生とお金の知恵	a:最新の経済動向を踏まえた学びを深めることができている。 a:進学先での学べる学問、取得できる資格、進学に係る費用等を調べ、理解している。 a:企業の雇用形態、賃金、社会保険料等、福利厚生等について調べ理解している。 b:自分らしいライフデザインの実現のために、どのような経済計画が必要か、生涯を見通したライフデザインリストを作成し、まとめたり、発表したりすることができる。 c: 自分らしいライフデザインの実現のために、どのような経済計画が必要かを考えたり、調べたりして、生涯を見通したライフデザインリストを作成しようとしている。	プレゼン	ワークシート	・出席 ・ワークシート ・課題への取り組み
		生活環境デザイン関連作品制作 ①トートバッグ制作 ②水引細工 ③丸形ポーチ ④モールアート	a:制作課題について作り方を理解し、時間内に正確に作ることができている。 b:基本の作り方を理解しつつ、オリジナル性を盛り込んだ作品を制作することができている。 ｃ：制作物の作り方を理解し、正確に作成するために作業に集中し取り組んでいる。	作品	・作品 ・レポート	・出席 ・作品 ・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度